



令和3年10月22日
海上保安庁

海賊対策のため巡視船つがるを派遣します

～我が国の海上交通路の安全確保に向けて～

海上保安庁は、東南アジア周辺海域における海賊対策のため、令和3年11月5日から約1か月間、巡視船「つがる」をフィリピン周辺海域に派遣し、公海上でのしよ戒を実施します。派遣中には、フィリピン沿岸警備隊との連携訓練を実施し、連携・協力関係の強化を図ることとしております。これらの取組を通じて、**インド太平洋海域の法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序の維持・強化**に貢献します。

海上保安庁では、海賊対策として、平成12年から東南アジア周辺海域に巡視船を派遣しています。海賊をはじめとする脅威に対して、法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序を実現することは、地域の平和、安定を支える上で不可欠なものです。

フィリピン周辺海域を含めた東南アジア周辺海域では、昨年1月に船員が誘拐される事案が発生しています。同海域周辺では、その後も海賊・武装強盗事案が引き続き発生しており、コロナ禍にあっても海賊等事案への対処の取組を沿岸国とともに継続していく必要があります。

なお、新型コロナウイルスの影響により、外国の港には入港せず無寄港で実施します。

1 派遣巡視船

第一管区海上保安本部 函館海上保安部所属
巡視船つがる
(総トン数3,100トン、ヘリコプター1機搭載)



2 連携訓練等概要

フィリピン南部のシブツ海峡において、フィリピン沿岸警備隊の巡視船と会合し、連携訓練を実施予定。

※フィリピン周辺海域における海賊・武装強盗事案発生件数(IMBレポート値)

令和元年5件、令和2年8件、令和3年(6月末時点)5件

3 派遣日程

令和3年11月 5日(金) 函館港出港

11月 中旬 フィリピン沿岸警備隊との連携訓練

11月29日(月) 函館港入港



	
フィリピン沿岸警備隊との連携訓練 (バシラン海峡) (平成30年11月)	インド沿岸警備隊との連携訓練 (令和2年1月)

【参考】

平成30年度及び令和元年度における巡視船派遣の状況